

第6回議会報告会の報告書



2013年5月

内容

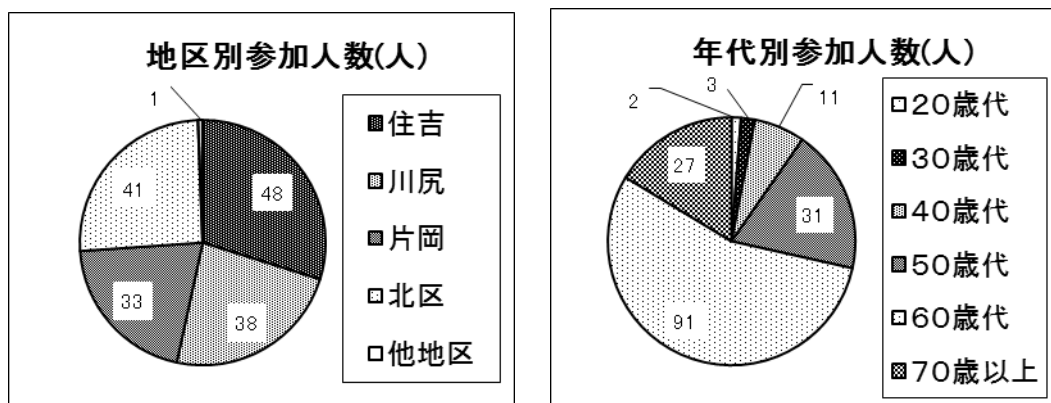
- 1) 町の予算について
- 2) 道路整備について
- 3) 意見交換

吉田町議会

1. 参加人数 (177人)

日時	5月18日		5月20日	5月21日	5月22日	合計(人)
開催場所	住吉(昼)	住吉(夜)	川尻(夜)	片岡(夜)	北区(夜)	
一般	10	11	23	19	28	91
女性団体	15	16	20	22	13	86
合計	25	27	43	41	41	177

2. 参加構成



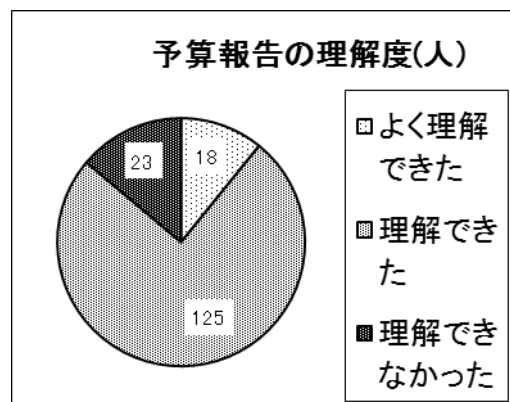
3. 参加者アンケート結果 (回答者167人)

問1. 町の予算に関する報告はいかがでしたか。

(回答いただいたコメント)

①防災関係

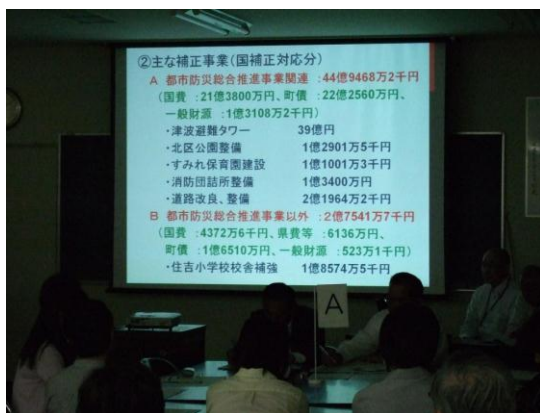
- ・津波火災対策は検討しているか。
- ・浸水に対する防災強化政策を推進すべき、住宅地の生活道路の拡張計画を進めてほしい。
- ・道路の計画が不十分、中央分離帯への取り組みが不十分。
- ・県の第四次津波被害想定に合わせて、海拔表示をせめて国道150号まで設置してほしい。



②財政運営関係

- ・防災関係が大きな金額となっているが、全体的なバランスはとれているのか？
- ・タワーは国の予算で完成できるが、もっと生活に有意義となるようを考えてほしい。
- ・避難タワーの建設投資必要性や予算確保の状況はよく理解できました。10年後、20年後経年による修繕積立や長期修繕計画の考え方を詳細に説明していただきたい。
- ・住民の要望に基づく予算に。・広域的な連携はどうなっている。
- ・今後のビジョンが。結局、町の借金がいくらになるのかが分からない。今後の返済計画、成長計画を示してほしい。(人口減、災害増加に対してどのように対応していくのか？)

問2. 地域の幹線道路、生活道路の整備に関する報告はいかがでしたか。



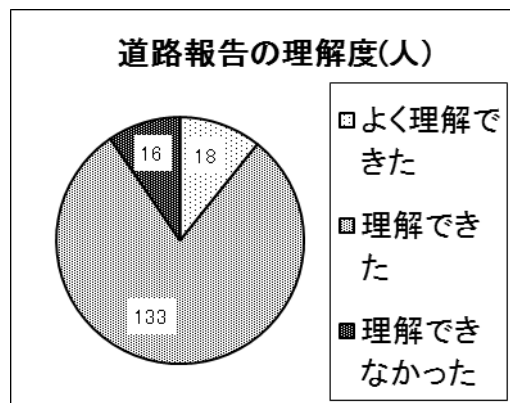
(回答いただいたコメント)

① 説明への意見

- ・地図が小さすぎて分からない箇所が多かった。地元以外は詳しいことが分からなかった。
- ・地図が広域すぎて場所の特定が難しかった。個別に拡大した図で説明してほしい。

②要望

- ・道路がよくなればなるほど交通量も多くなる。事故の多発が心配である。標識、信号機、横断歩道の即整備をお願いしたい。



- ・住吉幹線が開通すると聞きましたが、前年もその話が出たように思われますが、縦に貫通する幹線道路として、確実に開通してほしいと思います。
- ・区画整理の場所の水路を早くしてもらいたい。水はけが悪いため現場を見てもらいたい。

③道路行政への意見

- ・中央分離帯への取り組みが不十分である、せっかく作るのに「すみれ保育園」は生活道路への取り組みが出来ていない。
- ・幹線道路優先で生活道路が犠牲になっている感がある。地元の意見を十分に聞いてもらいたい。
- ・西の宮公園付近で、今まで通れたところが整備した後、片側通行となり不便になった。
- ・新交差点には十分な話し合いをしていただきたい。
- ・県道太平橋を中心に東西約3キロに及ぶ朝夕の大渋滞で、川尻地内では約1,000台の車が予想され津波発生時のパニックが想定される。抜け道はどこか、生活道路へ侵入してくる対策はどうなっている。

問3. 今回のグループごとの話し合い方式はいかがでしたか。

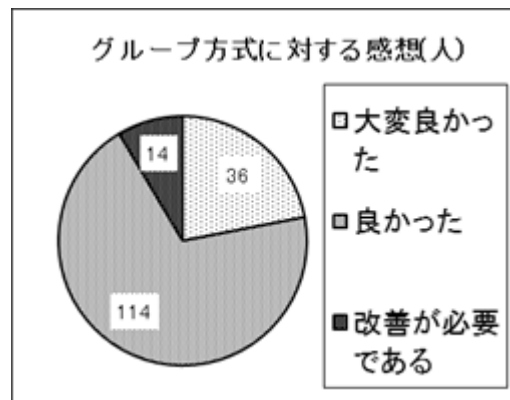
(回答いただいたコメント)

①感想

- ・たくさんの意見が聞いて良かったと思いました。
- ・議員と直接話ができるのが良かったです。

②改善提案

- ・最初に討議予定の次第を、参加者メンバーに周知していただきたいです。
- ・質問事項の整理が出来なかったため、資料をもう少し早く手元にほしかった。



- ・グループの人数が多すぎるため、各所で話を始めて内容が聞き取れない。話の集約方法の検討を。

③議会への意見

- ・議員が、町民の提案や質問の意図を理解できていない、町民の声へ真摯に向き合ってほしい。

問4. 今後、どのような内容の議会報告会を希望しますか。(その他の意見・要望でも結構です)

(回答いただいたコメント)

①参加した感想

- ・町内会単位で行うと良いと意見がありました。
- ・議員の方達と親しく話し合いができたこと良かったと思います。前の説明が長かったので話し合いの時間が短いと思いました。
- ・住民の顔が見える報告会は大変意義があると思う。
- ・小グループの質問形式には賛成。多数の人前では発言しにくい。
- ・初めてこのような会に参加でき、小さな意見でも言うことができ良かったです。

②今後の議会報告会への意見

- ・QA形式だけでなく町民の声や要望、それに対する議会働きかけなど記述してもらいたい。
- ・参加者全員の意見を聞くようにしたらどうか、特定の人のみ発言しており、他の参加者は発言の機会も時間もないではないか。
- ・今回初めて参加させていただきました。日頃町政の為に一生懸命働いてくださる議員の方と身近に意見交換させていただき有意義な時間でした。これからももっと町政の事に耳を傾け、住みよい吉田町になる様に機会があればまた参加したいと思います。
- ・グループの話し合いで、要望を伝えたが、各地区別に集まって話し合う場をつくる。(議員も参加)。

③議会への意見

- ・議会だよりを分かりやすく読みやすくしてほしい。
- ・安全安心の町づくりに資するために英知の結集を図っていただきたい。

④行政への意見

- ・津波避難タワー設置後、道路整備、避難タワーへ行く標識の整備をしてほしい。(誰でも目で見えるようにしてほしい)
- ・大雨時(4/6)はほんとうに怖かった。『どうなってしまうのかまだ降るのか』と、吉田町から何も知らせがないのは不安でした。これからもこんな事態でも知らせはないのでしょうか？

4. 各グループ報告

ア) 住吉特徴・・・4月6日に発生した大雨による浸水に対する対策要望。

*5月18日(土) 13時30分から15時30分 住吉会館 25人

Aグループ (6人)



Cグループ (7人)

Bグループ (6人)



Dグループ (6人)



*5月18日(土) 19時00分から21時00分 住吉会館 31人

Aグループ (8人)



Cグループ (8人)

Bグループ (8人)



Dグループ (7人)



①予算関係

Q：自動交付機の設置は何に。

A：交付内容は印鑑証明、住民票の謄本・抄本、現在の戸籍謄本・抄本現在の附表などで、時間は8時15分から21時まで利用できます。

Q：すみれ保育園で予定されている発達支援の受け入れとはどんなことか。

A：わが町では、ことばなどの発達の遅れが心配な子どもは、牧之原市にあるつくしの家に通って支援を受けているが、今後は、すみれ保育園で、支援が受けられるようになる。

- ・町の貯金と借金の状況について、分かりやすい説明をお願いしたい。
- ・内陸のフロンティア構想に関連し沿岸部に所在する町として「防災減災・地域成長モデル総合特区」を目指す内容を知りたい。
- ・吉田漁港津波堤基本設計業務委託料2,000万円の内容と機能強化を求める。
- ・すみれ保育園の施設整備と共にソフト面の内容充実を求める意見。
- ・避難タワー、大きな予算になったけど、どうしてそうなったのか。
- ・第1分団詰所 小藤路公園から旧さくら保育園跡地に変更される理由は。

②道路整備関係

- ・中央幹線と県道吉田港線の交差点から東に向けて道路改良を。
- ・住吉幹線の早期整備を求める。
- ・生活道路である町道の改良の在り方についての意見。(狭い道路で中心線から折半による考え)
- ・新しい道路の入り方が分かりにくい。東名川尻幹線の交差点に、案内板が必要。
- ・新しく出来た道路が高く、道路に溢れた雨が低地に入り被害が出ている。
- ・道路整備舗装の仕方、交差点の振動の出る手法は。
- ・吉田たんぼで町営住宅松下団地から榛南ゴルフ場に向かう道路の交通規制は出来ないか。
- ・幹線道路の交差点で、信号機がないため、事故が続けて起きている。道路をつくと同時に、信号機、横断歩道をつけてほしい。

③津波防災まちづくり関係

Q：避難タワー、1基の建設費が上がったのはなぜか。

A：全国で例がないため、技術検討会が設けられ検討された。その結果、国の避難タワーの標準仕様が出来、当初の見積もり金額より増額となった。

- ・避難タワーの施工方法、安全性は大丈夫か。
- ・第1分団消防団詰所、さくら保育園の跡地への建設。地盤は、津波に大丈夫か。南すぎないか。
- ・避難タワーへのお年寄り、身障者の収容はどうか。トイレ、食料、電気の対応が必要ではないか。
- ・避難連絡は、防災メールなどで避難場所の指示、夜間、避難タワーには屋根がない。
- ・津波の被害予想で大手の会社の移転はないか。
- ・避難タワーについて。タワーの場所が自宅より南に作られる。南に避難するには不安がある。
- ・避難タワー設置後の管理で子供への配慮、危険箇所はないか検討してほしい。
- ・今の堤防では、財産を守れない。堤防を高くしてほしい。
- ・住吉地域は、南北の道路が狭くすれ違いができない、防災まちづくりで、安心な道路にしてほしい。

④防災関係

Q：住吉小学校の耐震工事の時期と内容は。

A：校舎の一部が県の耐震基準を満たしていないため補強するもの。工事の時期は、休日や長期休暇（夏休み）に行く。

- ・ 榛南幹線北側地域の排水は。
- ・ 大井川堤防・坂口谷川周辺の調査はどのようになっているか伺いたい。
- ・ 地域の避難路の問題で、高齢者のことを考えてどのように進めていくのか。
- ・ 地震があったら、子供や生徒の迎えは道路の危険箇所や渋滞で困難になるので、引き渡しは無理だ、学校で預かってほしい。また各学校に避難用の備蓄物資も必要では。
- ・ 住民が、水浸しになってどうしようもない時や逃げ場所がなく迷った。このようなとき大雨注意報を出す対策をしてほしい。
- ・ 4月6日大雨避難勧告出なかった。牧之原市は出された。町の方針と避難場所の徹底を。
- ・ 大雨時（注意報・警報等）における町の指導、指示を適切に行ってほしい。
- ・ 避難勧告が出された時の対応の在り方について指導をされたい。
- ・ 避難施設の確認を家族一緒に考えたい。
- ・ ソフト面では、避難訓練を行政側と一緒にやりたい。

⑤原子力関係

Q：モニタリングポストのデータはどこで見られるか。

A：役場入口のロビーや町のホームページで見られます。

- ・ 原発への町の対応は。（議会も廃炉決議した。）

⑥要望

- ・ 小藤路公園の池に、子供が落ちたことがあるので防護柵の設置がほしい。池の深さは、60センチメートルぐらいで危険と思う。
- ・ 町道のヤナギハラメカックス側の側溝にフタがなく危ない。静銀南側の通学路、道が狭く危ない。
- ・ さくら保育園近辺の交通事故対策を。
- ・ 子供医療費(インフルエンザ)補助金はどうか。

⑦意見

- ・ 榛南幹線に交通事故があることから、信号機の計画を求める。
- ・ 河川清掃 住吉東浜は暗渠になっている。清掃はしたいが入れない(危険)ガスがあるのでは。
- ・ 水産加工場の排水のにおいが困る。
- ・ 交通安全対策は、自治会、学校、町、警察、どこに言っていけばよいのか。
- ・ 教育面におけるボランティアによる読み聞かせの大切さと図書司書を減員しないよう求める。
- ・ 港内の魚釣りで、釣りエサを放置して帰ってしまう人や、住吉海岸沿いでバーベキューをしている人が、あと片付けに問題があります。
- ・ 住吉海岸地域の、防犯灯が壊されることがあり放置しておけないが。

- ロ) 川尻特徴・・・道路整備において住民の声を聞いてほしい。
津波避難タワーが住吉に比べ少ない。

5月20日(月) 19時00分から21時00分 川尻会館 42人
Aグループ (12人) Bグループ (10人)



Cグループ (11人)



Dグループ (9人)



① 予算関係

- ・すみれ保育園への進入はどうか。東名川尻幹線からの進入が出来にくい。保育園東側の道路整備を急ぐとともに交通安全対策が必要。
- ・第2分団詰所 県営住宅南側に作られる。旧施設はどうか。周辺が若者、暴走族が集まる場所となっている。周辺整備と街路灯を。

② 道路整備関係

- ・西の宮公園の西側交差点が改良された、右折できなく、左折しかできないこのため高齢者の事故が4倍ぐらい増えた。標識が分かりづらいことですが、誰が見ても分かるようなものに。
- ・新しい生活基盤道路ができたことで、今まで使っていた道路が行き止まりになる場所を、早めに説明会を開いて交通規制を徹底してほしい。

③ 津波防災まちづくり関係

- ・避難タワーについて、街区K・L・Oの工事が6カ月遅れている要因は何か。全ての避難タワーが年度内に出来るのか。ペナルティーはどうか。
- ・津波発生時、津波避難ビルへは、人が殺到する。パニックになることも想定される。また、火災、溺死等どんな危険があるか考え、訓練しておく必要があるのではないかと。
- ・避難タワーの設置は、住吉は12基に対して川尻が3基である、津波が大井川を遡上してくると川尻地域は危険です。予算を増やして、住民の不安を解消してほしい。

- ・どこに行けばタワーがあるか分かる「津波避難タワー案内板」を地図と一緒に設置してほしい。

④防災関係

- ・4月6日の大雨で床下浸水があった。問屋川に排水整備を。
- ・4月6日の大雨時、防災ラジオが聞きづらかった。二次災害を防ぐためにもリアルタイムで情報がほしい。
- ・他の自治体では、高齢者の避難用具として特殊舟艇を設置している、家族用シェルターなど必要性があると考えている。
- ・中央小学校の耐震について心配があり要望する。

⑤原子力関係

- ・原発放射能災害時、学童疎開の必要がある。立地条件が類似した市町と協定を結んだらどうか。

⑥要望

- ・西の宮公園、樹木の管理と防犯灯の整備を。夜のジョギング者が多い。足元が見えない。
- ・川尻西の宮公園のバス停が道路改良工事で、バス停の位置が変わって不便になった。住民の利用率が上がるようにバス停の位置を改善し、あわせて駐輪場の設置をしてほしい。
- ・焼津榛原線、東名川尻線へ信号機の増設を。
- ・側溝の蓋なしが多い。予算が少ないのではないかと。設置を要望する。
- ・大幡川で、中国人が鯉を釣っている。釣り禁止の看板を設置してほしい。
- ・すみれ保育園の跡地の活用はどうするのか。有効利用を望みます。

⑧意見

- ・広報よしだ、議会だよりが外国人に読めるようにできないか。自分たちで翻訳している。
- ・町税・固定資産税について、なぜ減額にならないのか。
- ・大幡川沿いにごみステーションがあるため、プラごみが川に散乱している。

ハ) 片岡特徴・・・防犯灯、カーブミラーの設置要望

生活道路整備、道路の規制緩和（一方通行や中央分離帯）

5月21日（火） 19時00分から21時00分 片岡会館 41人

Aグループ（10人）

Bグループ（10人）



Cグループ (10人)



Dグループ (11人)



①予算関係

- ・片岡地区に関する予算が少ない。何を検討すればよいのか。

②道路整備関係

- ・町営住宅松下団地から榛南ゴルフ場に向かう、東西道路の大型車両の通行規制はできないか。
- ・町道下川原1号線(国道150号に接続する起点付近)の歩道計画を含めた道路改良を要望する。危険であり通学路としての変更もしている。
- ・図書館から南側の中瀬北原線に出るとき左右の見通しが悪く危険ですがこれから東名川尻線からの出入りができるようにならないか。
- ・国道150号のマイホームセンター東の通学路で、中古車が歩道側にあって吉田高校生徒の通学に危険ですがどうなっているのか。

③津波防災まちづくり関係

- ・高齢者、身障者の避難方法は。スロープはあるか。
- ・津波避難タワーについて、しらすぎ団地の避難について検討していただきたい。
- ・湯日川を挟んでの避難のため苦慮している。小さな避難タワー出来ないか。
- ・避難所への避難住民のための看板設置を。
- ・避難タワーの多目的利用につなげる検討が必要。(サポーター制度の意見)

④防災関係

Q：津波避難訓練が、住吉・川尻地区では行われたが、片岡・北区では行われなかったのはなぜか。同じようにやってほしい。

A：津波ハザードマップの浸水区域地区での実施となったため。それ以外の地域であっても、自主的な防災訓練としてぜひ、取り組んでいただきたい。

- ・4月6日大雨によって被害があった。町内会として要望書を出したいが要望が多くて町内会として苦慮している。
- ・地震が発生したら、高齢者、寝たきりの老人などは避難するのにどうするのか。

⑤原子力関係

- ・浜岡原発について大変不安に思っている。大事故が起きては困る。町としての原子力に対する対応、対策はないか。
- ・ヨウ素剤の用意は出来ているか。

⑥財政関係

- ・起債の218億円は心配だがどうか。一人当たりから見ても多いのではないか。
- ・避難タワーの投資はよいが、維持費用（長期修繕対策）はどうなっているか。

⑦要望

- ・通学道路の点検について、歩道も含めて生活道路を優先して予算措置をお願いしたい。
- ・能満寺山への避難道と街灯の整備、そして避難所用地の確保をしてほしい。
- ・ウォーキングの時、犬の糞が多い。モラルの問題です、モラルの徹底を提言してもらいたい。

⑧意見

Q：転入者に対して、ごみカレンダー、防災ハザードマップ、防災ラジオを1カ所の窓口で渡せるようにしてほしい。

A：すぐできることなので、町に報告します。

Q：三角公園（田方川緑地苑）の維持管理を町内会で行っているが、剪定、防除等の予算がないので困っている。水道料も支払っている。町内会では管理できない。町にお願いできないか。

A：町が児童遊園地に指定している。議会として町に確認の上、適切な対応を求めて行く。

- ・すみれ保育園移転後の跡地管理はどのようになっているか。
- ・中央小学校の校舎の建て替え計画はどうなっているのか。

ホ) 北区特徴・・・津波対策と同じように、北区へも投資を希望
はばたき橋開通による交通量増加に対する道路整備

5月22日(水) 19時00分から21時00分 北区自彊館 42人

Aグループ (11人)

Bグループ (11人)



Cグループ (10人)



Dグループ (10人)



①予算関係

- ・避難タワーへの投資の分を北区にも配分を。
- ・内陸のフロンティア関連で富士フィルム北側用地は、物流拠点が進みつつあるが、どうなるのか。

②道路整備関係

- ・備前の守トンネル北側広域農道と農面道路との接点付近での交通事故の危険が多い。信号機と標識やカーブミラーの設置をお願いしたい。
- ・通学道路（道上橋東側付近）の交通事故防止について、見通しが悪い道がありスピード制限をするための、ウェーブ道路を提案する。
- ・これから建設される、富士見幹線道路と塩谷線の交差点は危険箇所となります北区住民への情報説明会の開催を。

③津波防災まちづくり関係

- ・津波防災計画は何年度迄なのか。平成25年度で終了するのか。
- ・町債122億円の債務については、どこまで続くのか。
- ・津波から命を守るには防潮堤のかさ上げが必要ではないか。
- ・吉田町は南から北への避難道路は津波から逃げる車などや自転車人びとが右往左往して、道路は寸断されるが避難道路はどう考えているのか。
- ・避難道路のことで、住吉地域の人びとの避難は吉田田んぼに向けて山側に避難する また能満寺の上に避難所や備蓄物資の倉庫を設置したらどうか。

④防災関係

- ・4月6日の大雨で大窪川付近が冠水した。危険で工事の必要箇所がある。
- ・北区防災公園はどんな公園になるのか高い感心を持っている。
- ・災害時の協力、助け合いが大事と思うが、日赤奉仕団員が少ない。募集して増やしてほしい。隣組単位で防災勉強会を行うなどして防災意識を高める必要があるのではないか。

⑤財政関係

- ・吉田町の借金は、今後の人びとで返済していく。町内企業の減少や少子化など財政環境の悪化が予想される、借金返済計画はどうなっているのか。

⑥要望

- ・北区防災公園、富士見幹線、大幡川幹線の全線開通を神社西側の早期整備を。
- ・防犯灯の設置。
- ・計画されている北区防災公園には芝生を希望する。

⑦意見

- ・バイパス道路の交差点で信号機の設置を要望する。
- ・自治会役員に女性を加えることについて、考えてほしい。（防災講演会で岩手県の漁協の女性部長方が、細かいところに気が付くので自治会に女性の力が生かされたと話されていた）